

1 テーマ

少人数指導における、個別最適な学び・協働的な学びのためのICTの効果的な活用方法について（1・2年 生活科）

2 テーマ設定の理由または、課題

少人数で学習している低学年の子供たちにとって、協働的な学びのためにICTをどのように活用すると効果的なのか悩んでいる。また、自分がICTを活用することが不得手なので、不慣れでも子供たちに指導できる方法や扱いやすい機能等を知り、個別最適な学習に活用していきたいと考え、テーマを設定した。

3 実践内容

○オクリンクを活用した観察日記

1年生5人、2年生4人が合同で生活科の授業を行っている。1年生はアサガオを、2年生はミニトマトを一人一鉢で育て、観察した。生長の様子を用紙に絵と文でかく活動を減らし、オクリンクを使って写真を撮り、気付きや感想を録音して記録するという方法を取り入れてみた。2年生が1年生にやり方を教えたり、自分なりに工夫して日付や思いを記録したりする姿が見られた。



○他校とのリモート交流

1年生が、山間地の同じくらいの規模の小学校と、ミーティングを使って交流した。お互いに生活科「まちたんけん」の学習で分かったことを紹介し合った。ICTを活用して遠くの人と簡単につながることができることを体験できた。そして、浜松市内でも行ったことのない他地域の特徴や良さを知ったり、自分たちのまちの良さを広めたりすることができた。「そのお店に行ってみよう」という感想をもらい、子供たちはとてもうれしそうだった。協働的な学びにより、「もっと知りたい。」「家の人とまた行ってみよう」という思いをもつことができた。



4 成果と課題

ICT支援員の協力もあり、自分が不得手で今まであまり取り組もうとしてこなかった活動に挑戦してみることができた。そんなに身構えなくても、できるものだと実感した。まだまだ活用の仕方を自分が上手く指示できなかつたり、子供たちの作業に時間が掛かたりするので、活用回数を重ねてさらに効率よく効果的に使えるようにしていきたい。